

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」での投資について ～鉄触媒技術を用いた材料の研究開発を行う「株式会社 TSK」へ投資～



京都銀行（頭取 安井 幹也）が、2022年3月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド3号」は、「株式会社 TSK」へ投資いたしました。

「株式会社 TSK」は、独自の鉄触媒合成法を用いた機能性有機化合物の開発・製造を行う京都大学発スタートアップです。同社は、鉄という本来化学合成の触媒に向かない素材を、独自の技術で触媒として活用することに成功し、鉄触媒を用いた有機EL材など新規材料の開発に取り組んでいます。環境リスクや地政学リスクのあるパラジウムなどのレアメタル触媒が主流である中、同社は、これを枯渇リスクもなく環境負荷も少ない鉄という素材で置き換えることに挑戦しています。レアメタル触媒を鉄触媒に代替することで、コスト削減とグリーン化につながるため、同社の研究はSDGsの達成に資する取り組みとして期待されています。

京都銀行グループでは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

| | |
|------|-----------------------------|
| 企業名 | 株式会社 TSK |
| 代表者 | 代表取締役 孫 恩喆 |
| 所在地 | 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2 |
| 設立 | 2021年7月 |
| 事業内容 | 鉄触媒合成法を用いた機能性有機化合物の開発・製造・販売 |

2. 投資額

20,000,000円

3. 投資について

本件投資により「株式会社 TSK」は、鉄触媒技術を用いた材料の研究・開発等を進める。

4. 京銀未来ファンド3号の概要

| | |
|--------|--|
| 名 称 | 京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs 投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド3号) |
| 投資対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・当行の営業エリア内に本社を置く、独自性や新規性のある技術やビジネスモデルを有する企業 ・当行取引先企業のDX化やサステナビリティ経営に資する事業を行う日本国内の企業 |
| 出 資 者 | 無限責任組合員（GP）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行 |
| ファンド総額 | 20億円 |
| 当行出資額 | 19億80百万円 |
| 設 立 | 2022年3月31日 |
| 存続期間 | 10年（2022年3月～2031年12月） |

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

